

総務教育常任委員会資料

(令和8年7月21日)

ページ

- 令和7年度における鳥取県への移住者数について
【人口戦略課】・・・2
- 「若者版ふるさと来LOVEとっとり」メンバーシップ制度(愛称:とりとも)の登録開始について
【人口戦略課】・・・4
- 「とっとりワクスタFES(7月)」の開催結果について
【人口戦略課】・・・6
- とっとり地域産業成長プラン(第1弾)について
【人口戦略課】・・・8

人口戦略推進本部

令和7年度における鳥取県への移住者数について

令和8年7月21日
人口戦略課

令和7年度の本県への年間移住者数についてとりまとめましたので、その概要を報告します。

1 本県への移住状況

令和7年度の本県への年間移住者は1,764世帯2,342人となり、過去最多だった令和6年度(1,784世帯、2,393人)から51人の減少となったものの、引き続き高い水準を維持しています。

- ・コロナ後に加速している「都市部回帰」の流れから、本県では、県外大学卒業後のUターン就職率の減少や、コロナ禍で転入超過にあったファミリー層がコロナ後では転出超過に転じる等の動きがあり、こうしたことが移住者数減に影響した可能性があります。
- ・一方で本県への移住相談件数は前年に引き続き高い水準にあり、地方移住への高い関心は続いているとみられることから、引き続き移住先としての本県の魅力発信に努めるとともに、新たに設置する「人口・地域未来戦略県民会議」において、地域未来戦略による産業・雇用の創造、移住促進を含む若者や女性にも選ばれる地域づくりに向けた議論を行い、目標である年間移住者3,000人の達成に向けて取組んでいきます。

2 移住者数の推移

	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
上半期	984人	856人	919人	946人	1,002人	1,054人	1,087人 (上半期過去最多)
下半期	1,185人	1,280人	1,449人	1,157人	1,359人	1,339人	1,255人
年間	2,169人	2,136人	2,368人	2,103人	2,361人	<u>2,393人</u> (過去最多)	2,342人

○目標値…年間移住者数3,000人(「輝く鳥取創造総合戦略」(R6～R9)におけるKPI)

3 Iターン・Uターン別の移住者数、割合

区分	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
Iターン	974人 (48.8%)	1,037人 (50.4%)	1,191人 (52.2%)	1,027人 (51.8%)	1,203人 (52.7%)	1,161人 (53.3%)	1,160人 (55.7%)
Uターン	1,022人 (51.2%)	1,021人 (49.6%)	1,091人 (47.8%)	956人 (48.2%)	1,079人 (47.3%)	1,019人 (46.7%)	924人 (44.3%)

(参考:世帯主40代以下の人数、割合)

区分	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
Iターン	805人 (49.8%)	817人 (50.1%)	964人 (55.1%)	634人 (52.7%)	944人 (56.0%)	888人 (55.7%)	863人 (59.6%)
Uターン	811人 (50.2%)	815人 (49.9%)	787人 (44.9%)	568人 (47.3%)	742人 (44.0%)	706人 (44.3%)	585人 (40.4%)

※区分不明の者を除いているため、合計は移住者の全体数とは一致しない。

4 市町村別の移住者数

(単位:人)

市町村名	移住者数	市町村名	移住者数	市町村名	移住者数	市町村名	移住者数
鳥取市	465 (508)	若桜町	17 (19)	琴浦町	134 (149)	伯耆町	30 (30)
米子市	536 (558)	智頭町	42 (13)	北栄町	69 (64)	日南町	35 (32)
倉吉市	360 (353)	八頭町	67 (48)	日吉津村	26 (23)	日野町	22 (31)
境港市	217 (184)	三朝町	37 (49)	大山町	34 (25)	江府町	10 (28)
岩美町	84 (90)	湯梨浜町	85 (108)	南部町	72 (81)	合計	2,342 (2,393)

※括弧内の数字は前年度の移住者数

5 移住世帯の属性

(1) 年代

・40代以下の世帯が全体の約8割(76.9%)を占める。

年代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
世帯数	643世帯	298世帯	166世帯	158世帯	108世帯	66世帯	1,439世帯
平均世帯員数	1.15人	1.67人	1.47人	1.30人	1.38人	1.26人	1.33人
構成比	44.7%	20.7%	11.5%	11.0%	7.5%	4.6%	100%

※年代不明の世帯があることから、合計は移住世帯の全体数とは一致しない。

(2) 移住理由

- ・50代までの各年代で「就職」が最も多いが、30代は「就職」に次いで「結婚・子育て」が多い。
- ・60代は「退職・卒業等による帰郷」、70代以上は「田舎暮らしを志向」が最も多くなっている。

	全体		～20代		30代		40代		50代		60代		70代～	
	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比
農林水産業	24	1.8%	7	1.1%	7	2.5%	6	3.8%	3	2.0%	1	1.0%	0	0.0%
企業等への就職	647	47.2%	372	60.2%	137	48.2%	67	42.9%	59	39.3%	10	9.7%	2	3.3%
起業	12	0.9%	1	0.2%	2	0.7%	4	2.6%	2	1.3%	3	2.9%	0	0.0%
結婚・子育て	143	10.4%	77	12.5%	45	15.8%	15	9.6%	5	3.3%	0	0.0%	1	1.7%
介護	48	3.5%	0	0.0%	6	2.1%	3	1.9%	19	12.7%	8	7.8%	12	20.0%
田舎暮らしを志向	109	8.0%	15	2.4%	24	8.5%	18	11.5%	14	9.3%	16	15.5%	22	36.7%
退職・卒業等による帰郷	230	16.8%	102	16.5%	30	10.6%	19	12.2%	25	16.7%	47	45.6%	7	11.7%
その他	158	11.5%	44	7.1%	33	11.6%	24	15.4%	23	15.3%	18	17.5%	16	26.7%
計	1,371	100%	618	100%	284	100%	156	100%	150	100%	103	100%	60	100%

※移住理由が不明な世帯があることから、合計は移住世帯の全体数とは一致しない。

(3) 移住元地域

- ・移住元地域は、近畿地方、中国地方、関東地方の順に多くなっている。
- ・国外からの移住者が増加傾向にある。

(単位:世帯)

地域 年度	北海道 東北	関東	うち東京圏※	中部	近畿	中国	四国	九州	国外	合計
R元	36	290	272	91	521	453	46	81	56	1,558
R2	32	333	309	118	484	440	62	73	25	1,542
R3	32	338	319	109	538	474	51	84	34	1,660
R4	48	295	270	98	489	406	37	68	71	1,512
R5	45	350	325	101	499	458	52	79	80	1,664
R6	41	325	299	117	500	456	57	83	109	1,688
R7	45	302	275	98	493	407	43	97	103	1,588

※東京圏…埼玉・千葉・東京・神奈川

※移住元地域が不明な世帯があることから、合計は移住世帯の全体数とは一致しない。

参考(1) 移住者の定着率

- ・移住後3年程度居住した場合を県内定着とみなし、令和5年度移住者(2,361人)の令和7年度末の定着状況について市町村を通じて調査した。
- 定着の有無を調査できた人数は611人、うち定着を確認した人数は459人(定着率75.1%)であった。

	移住者数	調査人数	定着確認数	定着率
R8調査(R5移住者)	2,361人	611人	459人	75.1%

参考(2) 本県への移住相談等の状況

- ・移住相談の受付件数や移住検討者の来県交通費助成事業の利用件数は近年増加傾向にあり、コロナ禍前を上回る水準。

年度	(公財)ふるさと鳥取県定住機構				(NPO)ふるさと回帰支援センター			相談件 数合計 (A+B)
	移住相談件数			移住検討者来県 交通費助成件数	移住相談件数			
	イベント	イベント以外	合計(A)		イベント	イベント以外	合計(B)	
R元	732 件	1,128 件	1,860 件	45 件	280 件	68 件	348 件	2,208 件
R2	184 件	1,059 件	1,243 件	42 件	109 件	121 件	230 件	1,473 件
R3	518 件	1,298 件	1,816 件	50 件	138 件	138 件	276 件	2,092 件
R4	370 件	1,550 件	1,920 件	88 件	222 件	191 件	413 件	2,333 件
R5	511 件	1,435 件	1,946 件	131 件	349 件	226 件	575 件	2,521 件
R6	756 件	1,415 件	2,171 件	149 件	267 件	236 件	503 件	2,674 件
R7	709 件	1,441 件	2,150 件	(過去最多) 165 件	234 件	301 件	535 件	2,685 件

「若者版ふるさと来 LOVE とっとり」メンバーシップ制度（愛称：とりとも） の登録開始について

令和 8 年 7 月 21 日
人口戦略課

「とっとり」をキーワードとする若者同士のつながりなどを通じて将来的な若者の県内就職促進や関係人口のさらなる創出を目的として、下記のとおり、若者向けの鳥取ファンクラブ「若者版ふるさと来 LOVE（クラブ）とっとり」メンバーシップ制度（愛称：とりとも）を創設しました（令和 8 年 7 月 8 日スタート）。

記

1 概要

「若者版ふるさと来 LOVE とっとり」メンバーシップ制度（愛称：とりとも）は、高校生～30 代までの若者（出身地や居住地の県内外を問わない）が加入できる会費無料の鳥取のファンクラブ。

「つながる」「得する」メンバーシップのコンセプトのもと、若者がとっとりをもっと好きになるための 5 つの登録特典を用意。

※『とりとも』の愛称は LINE とりふるで行ったアンケートにより決定。

（鳥取つながりの友だち、鳥取を身近に感じてもっと好きになる、という意味が込められている。）



2 5 つの登録特典

（1）会員専用コミュニティ

ア とっとり“つながる”コミュニティ

県内外で鳥取ゆかりの人が集まるイベントや交流会などリアルで出会える場や、おすすめしたい地元情報などを共有する掲示板。

イ とっとり“受験・就活”コミュニティ

高校生が大学生にちょっとした進路や受験などの相談をしたり、大学生同士が就活情報などを共有する掲示板。会員からの疑問や質問に対して他の会員が回答。

（2）就活等で使える交通費助成

県内の就職活動や就活イベント等（とっとりインターンシップを除く）に参加する場合に、交通費の全額を助成（助成上限額は居住地に応じて 6,000 円～80,000 円で設定）。高校生・大学生・専門学校生等が対象（県内外を問わない）。

（3）特産品プレゼント

すべての会員を対象に、年 1～2 回、抽選で鳥取の特産品等をプレゼント。

（4）鳥取県内で使えるデジタルクーポン

県内の施設のグルメやアクティビティ体験などの割引特典等がついたお得なクーポンが利用可能（鳥取県観光連盟「トリパス」と連携）。

（5）ポイント付与

「友だち紹介」「マイページログイン」等で県産品や QUO カード Pay 等と交換できるポイントを付与（LINE とりふるのポイントと互換性あり）。

3 会員拡大に向けた広報周知と今後の展開

- ・「とっとりワクスタ FES」（7/12（日）、鳥取県民体育館）において、参加者 1,636 名全員にチラシを配布するとともに、開会式で知事から登録呼びかけを実施。
- ・ 8 月末までに会員登録した 100 名の方に、抽選で鳥取の特産品等（星空舞ごはんパック、すなば珈琲セット、鳥取梨スイーツセット、鳥取砂丘セグウェイ、SUP 体験など）が当たるキャンペーンを実施中。
- ・ 今後、首都圏・関西ウェルカニネットワークのイベント（鳥縁祭）等でのチラシ配布や SNS での広報により会員拡大を図る。

つながる！得する！若者向け鳥取県ファンクラブ制度

高校生～
30代限定
会費無料

とりとも toritomo

とりともとは

高校生～30代までの若者が加入できる鳥取のファンクラブで、
鳥取を通じて、若者が「つながる」「得する」会員制度です。
さあ、思う存分とっとりを満喫しちゃいましょう！

登録方法

LINEとりふるから
カンタンに
会員登録できます



利用までの3ステップ！▼

- ① LINE友だち追加
- ② フォームから会員登録
- ③ メニュー又はマイページから「とりとも」をタップ

とりとも入会特典！

特典1

会員専用 コミュニティ

とっとり“つながる” コミュニティ

県内外で鳥取ゆかりの人が集まるイベントや
交流会などリアルで出会える場や、おすすめ
したい地元情報などを共有する掲示板です。

とっとり“受験・就活” コミュニティ

高校生が大学生にちょっとした進路や受験な
どの相談をしたり、大学生同士が就活情報な
どを共有する掲示板です。

特典2

就活等で使える 交通費助成！（学生限定）

学生就職活動交通費補助金

交通費 **全額助成**

県内の就職活動や就活イベント等に参加す
る場合に、交通費の全額を助成します。（助成
上限額は居住地に応じて変わります。とっとり
インターンシップは別途助成あり。）
助成上限額に達するまで何度でも使えます。

特典3

特産品 プレゼント

年1～2回、抽選で
ととりの特産品を
プレゼントします！

特典4

鳥取県内で使える デジタル クーポン

県内施設のグルメや
アクティビティ体験
などの割引特典がつ
いた「トリバス」デジ
タルクーポン。年間
を通じて使えてお得
です！

特典5

ポイントがもらえる！

「友だち紹介」「マイページログイン」等で
特産品等と交換できるポイントがたまります！

お問い合わせ

鳥取県 人口戦略推進本部 人口戦略課
mail: jinkou-senryaku@pref.tottori.lg.jp

Tel. 0857-26-7652

専用ホームページ▶
入会特典等の詳細はこちら



令和8年7月作成

「とっとりワクスタ FES（7月）」の開催結果について

令和8年7月21日
人口戦略課

若者の県内進学や県内就職、鳥取愛醸成を促進するため、若者がワクワクしながら鳥取で働く（work）、学ぶ（study）、暮らす楽しさを体験できるイベント「とっとりワクスタ FES」を以下のとおり開催しました。

1 日 時 令和8年7月12日（日）午後1時～4時40分

2 場 所 鳥取県民体育館

3 参加者 高校生、大学生、保護者等 1,636名
（学生ボランティアを含む）
県内企業・団体・学校等 計100ブース

4 内 容

（1）オープニングイベント

鳥取敬愛高校ダンス部によるダンスパフォーマンス



（2）ブース訪問による交流

県内企業・団体・大学等が以下内容のブースを出展し、参加者が各ブースを訪問。出展者は、鳥取で体験して欲しいこと等を記載した「ワクスタ交流カード」を参加者に配布し、参加者との交流を行った。

＜ブース内容＞

ア キャリア相談・鳥取暮らしコーナー

若手社会人が、学生のキャリア形成・相談に対応するほか、鳥取での過ごし方や暮らし方を紹介。

イ 仕事体験・インターンシップコーナー

採用担当者や若手社会人が、自社の魅力やインターンシッププログラムを紹介。（「ワクスタ交流カード」を持参し、とっとりインターンシップに参加した方には特産品をプレゼント）

ウ 鳥取の魅力まるごと体験コーナー

学生や地域団体、自治体等が、食・文化・自然など鳥取の魅力を紹介。

エ 大学生生活紹介コーナー

県内大学生が、普段の学生生活や自身の受験体験談等を紹介。

オ プチオープンキャンパスコーナー

県内大学や専門学校等が、学校や県内進学の魅力を紹介。

カ 探究学習・活動成果発表コーナー

高校生が、探究学習や普段の活動の成果を発表。



（3）ステージイベント

QuizKnock 鶴崎修功氏によるトークショー

鶴崎修功氏は、本県出身（鳥取西高校卒業）で、クイズ・エンタメ集団 QuizKnock のメンバー。トークショーでは、鳥取での思い出や受験体験談を話していただいたほか、鳥取にまつわるクイズへの挑戦企画や会場参加者からの質問に答えるコーナーも実施。

（4）セミナー

クイズを通して鳥取の魅力を楽しく学べるセミナーと、自分自身を見つめ直しながら自己分析や業界研究につなげるセミナーの、2つの特別セミナーを開催。

（5）その他

参加者のお楽しみ要素として会場内で以下の企画を実施。

- ・若者の共感を呼ぶ『それな』と言いたくなる出来事を集めた「それな 100 回言った展」とのコラボ企画
- ・自分に合った色を探せる「パーソナルカラー診断」体験コーナー
- ・鳥取のスイーツ等を提供・販売する交流カフェコーナー
- ・景品がもらえる会場内スタンプラリー など



5 参加者の声

(1) 参加者側（学生・保護者等）

- ・仕事体験やインターンシップの情報が欲しくて参加した。雰囲気がお祭りのようで楽しかった。
（大学1年生・県外出身）
- ・様々な職業や鳥取の魅力について知ることができた。自分が就職する上で大切なことに気づけた。
（大学1年生・県外出身）
- ・色々なインターシップに関する情報を一挙に得られてとてもよかった。（大学2年生・県外出身）
- ・企業を身近に感じられ、実際の仕事の様子を体感できた。ブースで配られた交流カードに企業のQRコードがついていたので企業訪問等の参考にしたい。（大学3年生・県内出身）
- ・ブースの数が充実していたため、就職と暮らしの両面から幅広く鳥取の魅力を知ることができた。
（大学4年生・県外出身）
- ・将来の働くイメージをつけたくて仕事体験に参加した。多くの企業を一度に見ることができてよかった。
（高校生）
- ・子どもの将来の進路や就職の参考にしようと参加した。いろいろな情報を収集できて有意義だった。
（保護者）

(2) 出展者側

- ・県外のイベントにも多く参加しているが、それよりも来場者数がかなり多く圧倒された。（企業）
- ・ブースで多くの学生と交流できて効果的だった。特に低学年の学生が多かったので、将来的に企業を知ってもらえる良い機会になった。（企業）
- ・ブースから溢れるほど多くの学生が参加してくれてびっくりした。鳥取や地域の魅力を知ってもらえる良い機会になった。（自治体）
- ・活動発表は大学生に話を聞いてもらえる貴重な機会になった。アドバイスももらえたのでこれからの参考にしたい。（高校生）

6 今後の日程

本イベントは今年度初開催で、ターゲットや内容を変えながら、年4回の開催を予定。

8月12日 倉吉体育文化会館

12月下旬 米子コンベンションセンター、鳥取産業体育館

1月下旬 倉吉未来中心

とっとり地域産業成長プラン（第1弾）について

令和8年7月21日
人口戦略課

地域未来戦略のうち県が策定する「地域産業成長プラン」について、検討を進めてきた素案のうち要件が整った4件のプランを、「鳥取県人口・地域未来戦略県民会議」において報告し、事前確認のため国へ提出しました。

1 とっとり産業成長プラン検討素案

本県の地域特性や産業集積等の強みを踏まえて、今後注力していく分野を設定し組成

【対象分野】フード・マニュファクチャリング、ネクスト・インダストリー、GX・エネルギー、ヘルスケア、サポーティング・インダストリー、コンテンツ、モビリティ、農林分野、環境分野、観光分野、中山間地域分野

2 事前確認提出プラン

(1) 環境分野（ミールワーム）

未利用食品等を有効活用したミールワーム由来の高付加価値素材及び高付加価値商品（食品・健康食品等）の製造・販売を行う集積地を形成

- ・未利用食品等を活用し環境負荷を低減したミールワーム養殖、天然ビタミンD3等の素材の製造・販売、高付加価値商品（食品・健康食品等）の開発・製造・販売
- ・これらを県西部地区で一体的に行うことで、食品製造業、廃棄物処理業、健康食品産業等をつなぐ地域循環型の産業クラスターを構築

(2) フード・マニュファクチャリング（水産）×観光分野

港湾・漁港機能強化とアジア市場及びインバウンド市場を主要ターゲットとする高付加価値化により西日本最大級の水産物供給基地を目指す

- ・加工品原料確保の不安定さを解消するための高度な温度管理が可能な冷凍冷蔵施設整備
- ・加工製造現場における省人化、自動化、品質管理の高度化、需要予測、在庫管理等にAIを活用しながら取り組むAX人材の育成
- ・独自加工技術活用やニーズに合わせた商品開発で高付加価値化を図り、国内外の需要獲得
- ・市場ツアーや食体験などインバウンド需要を取り込む高付加価値商品を展開し、観光消費を拡大

(3) 農林分野（鳥取すいか）

「6～7月は鳥取すいかの指定席」と評されるブランドの更なる拡大を目指し、高品質・安定生産を加速する産地振興に加え、地域一体で「日本一のすいか産地とっとり」を確立

- ・ハウス環境モニタリングシステムなどの先進技術導入による品質安定、収益性の向上
- ・地域内事業者との連携により加工品を開発・販売し、通年でのPRにつなげる
- ・観光・飲食業との連携による地域ブランドとしての展開拡大
- ・安定生産につなげる新規就農者の円滑な確保

(4) 農林分野×製造業（きのこレザー）

県内生産きのこ由来の繊維を活用した素材の開発・量産化で、世界的に需要が拡大するサステナブル素材市場を目指す

- ・家具及びインテリアメーカーと連携し、テーブル天板表皮材、椅子張材、内装材等への活用
- ・高付加価値市場であるバッグ・小物市場向け製品を展開し、ブランド認知度向上と収益基盤の確立
- ・自動車メーカー及び自動車部品メーカーとの共同開発を進め、自動車内装材市場への参入
- ・量産化技術により既存の菌糸系素材と比較して低コストでの製造を実現し、「環境価値」と「価格競争力」を両立することで市場優位性を確立

3 今後の予定

- ・国による事前確認が行われ、確認が完了したプランを正式提出する。
→国が第1弾として取りまとめ、内閣官房ホームページに8月中旬に公表される見込み。
- ・国は、今後も随時事前確認を受け付け、半期に一度程度まとめて公表されることから、引き続き「とっとり地域産業成長プラン」検討素案を幅広く周知するとともに、民間事業者からの提案受付を継続し、プランの策定を進めていく。

(策定を進めているプラン)

- ・サポーティング・インダストリー（電子・電気機械・金属加工）
- ・ネクスト・インダストリー（宇宙・航空）
- ・フード・マニュファクチャリング
- ・観光分野（まんが・温泉・まちなみを活かした滞在拠点の整備）